

「北朝鮮の核・ミサイル拡散問題 最近の情勢と今後の課題」

報告者：阪田恭代(神田外語大学)

1、 背景 ポスト9.11の新たな文脈

ポスト9.11(対テロ)のアメリカの大量破壊兵器不拡散・拡散対抗戦略

輸出管理の強化、拡散安全保障イニシアチブ(PSI)

スマート・サンクションの積極的活用、不拡散制裁、国連安保理決議、金融制裁

「ならず者国家」・「拡散懸念国」ネットワークの再編(ブッシュ大統領の「悪の枢軸」)

イラク、リビア(「リビア・モデル」)、パキスタンのA.Q.カーン・ネットワーク

懸念される「北朝鮮-イラン(・シリア)」軸

核・ミサイル協力の進展

国連安保理決議1695(北朝鮮)・1696(イラン)、1718(北朝鮮)・1737(イラン)

2、 北朝鮮の核・ミサイル計画はどのような状況なのか？

「核ミサイル」開発の進展(「核保有」の脅威)

*2006年の核・ミサイル実験(+代理実験)*プルトニウム計画の進展 *謎のウラン濃縮計画

*従来のミサイルの性能向上 *テポドン2号(ICBM)? *新型ミサイルの開発

ミサイル輸出だけでなく、核(物質)輸出も可能に。(「核拡散」の脅威)

*核燃料サイクル *兵器級プルトニウム量産へ *六フッ化ウラン?

北朝鮮・イラン協力の進化

*核・ミサイル「共同」開発(Nodong/Shahab改良、新型ミサイル、SLV)

*北朝鮮とイランの「核取引」? *イランの資金・エネルギー(石油)

テロ組織への間接的拡散の問題(例:Hezbollah)

北朝鮮・パキスタン関係は?「核とミサイルの取引」の後は?

背後にある供給国中国・ロシアの問題

欧米・日本など先進国からの不正調達

3、 今後の課題は? 北朝鮮をめぐる不拡散・輸出管理の観点から

焦点 核ミサイル開発の規制、遅延、阻止 核物質流出の規制・阻止

イラン 北朝鮮コネクションに注意 イラン・北朝鮮の引き離し

テロ組織への流出防止

外部からの規制

輸出管理の強化

国連安保理決議の履行

金融制裁

PSIの強化

内部からの規制・変革

積極的な不拡散外交(+平和構築)

・6者協議、非核化プロセス

・「協調的脅威削減(CTR: Cooperative Threat Reduction)」計画の適用